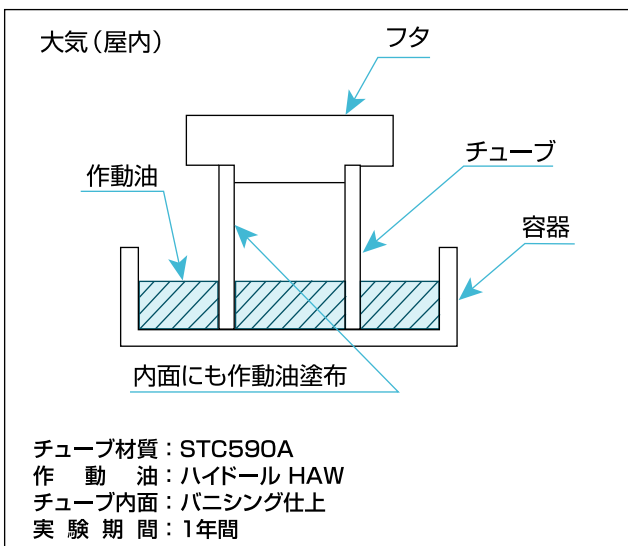


水+グリコール系作動油のチューブ内面について

使用作動油が水+グリコール系の場合のチューブ内面メッキはなしでも大丈夫

水+グリコール系作動油を使用される場合の多くが、防錆目的でチューブ内面メッキのご指示をいただきますが、内面メッキをするためにシリンダが高価になり、お困りではないでしょうか？
『メッキをしないと本当に錆びてしまうのか？』を実験してみました。

■実験図



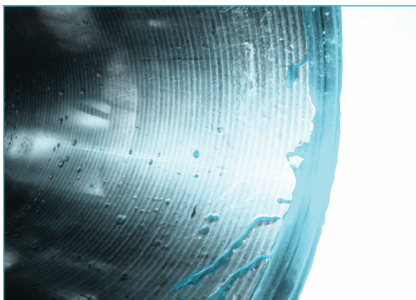
■実験中のチューブ内面写真



■実験結果

作動油接触面、作動油と大気の境界面、大気面の3箇所において、目視および第3者調査機関によるマイクロ観察でも錆は認められませんでした。

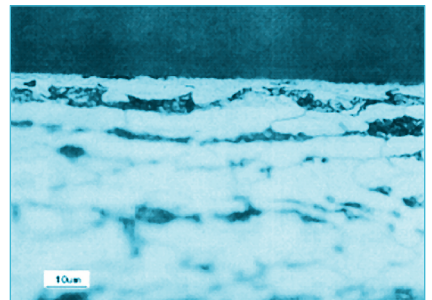
■実験後のチューブ内面



■実験後のチューブ内面



■実験後のマイクロ観察



■実験結果より

シリンダのご使用中はもちろん、一定期間ご使用にならない場合でも、保管方法（新油をシリンダ内に封入等）の工夫次第でコスト削減ができます。